

# 大谷學報

第六十七卷 第二号

昭和六十二年九月三十日発行

---

教行信證の「後序」について……………廣瀬 杲 (1)			
『今昔物語集』における出家・遁世……………石橋 義秀 (13)			
『三彌底部論』解読研究 中有の存在に関する議論(上)……………加治 洋一 (28)			
昭和六十一年度 特別研修員研究発表要旨…………… (40)			
彙 報…………… (62)			
「老人像」再考……………佐賀枝夏文 (71)			

---

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷大学研究年報 第四十集

浄土真宗の開顯……………細川 行信

——親鸞の伝承と相伝をめぐって——

智儼における性起思想の一特質……………鍵主 良敬

M・シェーラーに於ける

「共感」の位置……………池上 哲司

近世後期における

地方農民の精神生活……………豊島 修

——とくに宗教生活を中心に——

南部フォッサマグナ富士川周辺の重力異常から

推定される活構造について……………西田 潤一

大谷学報 第六十七巻 第一号

ベルクソンにおける「静的宗教」

としての神話論……………武田 武磨

ジョルジュ・サンドの《田園小説》

をめぐって……………加来 一丸

『レクシエーニンボ』の中観プラー

サンギカ編 解読研究 (I. 222～

II. 222. 1121) ……白館 戒雲

戦国期本願寺教団における

年中行事の意味……………草野 顕之

建言我一心……………安藤 文雄

# THE OTANI GAKUHO

( THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES )

## CONTENTS

### Articles :

On the Last Introductory Remark  
of the *Kyogyoshinsho* ..... *Takashi Hirose* ( 1 )

Renunciation (出家) and Refuge (遁世)  
in the *Konjyaku Monogatari-shū* ..... *Gishu Ishibashi* ( 13 )

Deciphering the *Sammitiya Śāstra* :  
the Augments on the Existence of  
the antarābhava (I) ..... *Yoichi Kaji* ( 28 )

Another view point on the senile profide ..... *Natsufumi Sagae* ( 1 )

**Resumés** of Papers presented in 1986 by  
Special Research Fellows ..... ( 40 )

### Miscellaneous :

---

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

## 大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・社会学・史学・文学、その他の學術研究と發表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要なる事業

第四条 1、本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会長

二、委員

三、監事

第六条 会長には大谷大学学長が当り、会務を統理する。

第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。

第八条 1、監事は二名とし、教授会において互選する。任期は二年とする。

2、監事は本会の会計を監査する。

第九条 会員は本会の出版物にその研究を發表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

第一〇条 会員の会費は年額金四千元とする。但し、学生会員は貳千元とする。

第十一条 1、本会の経費は会費をもつてこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第十二条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第十三条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 1、この規程は昭和五十六年四月一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学会役員

委員 大竹 鑑 片岡 了

日下部有信 多田 稔

田中圭治郎 寺川 俊昭

長崎 法潤 名畑 崇

藤田 昭彦 箕浦 恵了

昭和六十二年九月三十日発行

大谷学会

編集兼 福 島 光 哉

発行者 西 村 明

印刷者 京都府北區小山上總町

大谷大学内

發行所 大 谷 学 会

振替 京都 四一八三九三番  
電話 (〇七五) 四三二一三三二代  
郵便 番号 六 〇 三